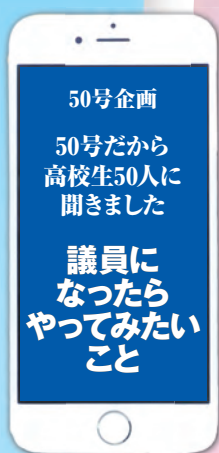


まにわ



岡山県初
政務活動費の
領収書を
インターネットで
見えるように
しました

真庭市議会 政務活動費 検索

パソコン・スマートフォン・タブレットで見られます。

不正使用でテレビで話題になった議員の政務活動費。

真庭市議会では、月額3万円(年額36万円)の政務活動費が年度初めの4月に一括交付され、年度末に精算し、残額を市に返金しています。

政務活動費は議員が、研究会や先進地などへの調査研究を目的に使う費用で、交通費・宿泊費は支給されますが、飲食費は認められていません。

真庭市議会では1円以上、全ての領収書の提出を求めています。11月1日から岡山県のトップを切って収支報告書と添付の領収書、視察等の届出・報告書の公開を始めました。

政務活動費の領収書等の公開は、議会活性化策のうちのひとつで、議員全員の同意によるものです。

領収書等は真庭市ホームページに掲載しています。「真庭市議会 政務活動費」で検索してください。

なお、領収書等は真庭市役所4階・議会事務局でも閲覧できます。



■外国人とも交流が深められるような街にしたい。

W・N

■小学校や中学校、高校の教育に関わる資金を増やす。 S・M

■地域の人みんなと交流して、いろいろなことを知りたい。 T・I

■イベントなど老若男女問わず参加できるものを開催する。 Y・N

■中・高校生に海外に行く機会を増やすこと。 M・I

■若者が住みたいと思う、自然豊かな街づくり！

R・H

■地域の人意見を聞き、ベストな方法で解決できる。 M・Y

■地域の人みんなが不自由なく過ごせるようにしたい。 T・K

■バイオマス発電を発展させ、日本の主な発電をこれにする。 D・K

■議員になったらお店を増やして観光客がいっぱい来るようにしたい。 M・O

■公共施設を整備し、老若男女が安心できる街にしたい。 T・M

■非正規雇用問題を改善させ、よりよい社会をめざしたい。 K・F

■クリーン活動を積極的に行い、環境のいい街にしたい。 Y・N

■みんなが安心して住める楽しいまち。 Y・N

■真庭市民が真庭市のことを深く知るきっかけとなる企画をしたい。 M・T

■真庭市の木の多さを生かしたアスレチックをつくりたい。 K・T

■莫大な費用をかけて、めちゃくちゃ規模の大きい音楽フェスをする。 S・G

■みんなが自分から挨拶をするような、笑顔あふれる真庭市にしたい。 M・K

■犬と遊べる公園やドッグランがある市にしたい。 O・W

■公園などの、地域の人たち全員が利用できる公共の場を設けたい。 H・I

■シティープロモーションをして、真庭市を有名にさせる。 T・M

■真庭市から、ポイ捨てされたゴミを減らしたい。 F・M

■除雪の予算を増やしたり、福祉施設を充実させたい。真庭市の予算UP。 M・I

■真庭の古い文化なども残しつつ、発展させたい。 I・U

■保育施設を増やし、県内だけでなく県外からも受け入れるようにする。 Y・K

■一度県外に出た人が真庭市に戻ってきたいと思える市にしたい。 N・Y

■蒜山を都市化させないようにしたい。 E・I

■各地域の観光スポットを前面に押し出す政策を作る。 Y・S

■祭りやフリーマーケットなどを大きく取り上げて活性化させたい。 R・O

■どこにいても木の香りがし、鳥の音がきこえる街にしたい。 K・K



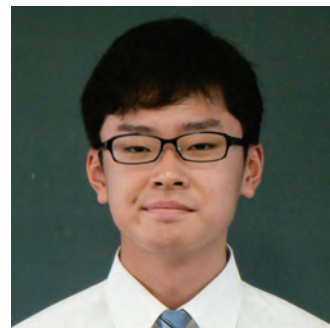
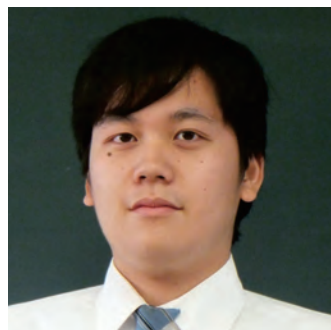
50号企画

50号だから高校生50人に聞きました

議員になったら やってみたいこと



50号だから
高校生50人に
聞きました



- 持続可能な森林でバイオマスの活用が促進された地域にしたい。 K・E
- 様々な世代の方との交流で、伝統や文化について学べる街にしたい。 H・H
- 年々減少している畜産農家を盛り上げていきたい。 H・I
- 美術や音楽の学習や発表ができる環境が整った市になれば良い。 N・M
- 勝山や久世の商店街のお店が増えてもっとにぎやかになってほしい。 Y・O
- 国際交流がたくさんできて、異文化を分かち合える街にしたい。 A・N
- 街灯をもう少し増やしてほしい。 T・S
- 若者がもっと気軽に遊べる場所を増やしてほしい。 T・M
- 人が集まるよう、遊園地やショッピングモールを誘致したい。 M・K
- 高齢者から若者まで住みよい施設が充実した街にしたい。 S・S

- 木質バイオマス発電所をもう1基つくりたい。 S・M
- 若者の新鮮な意見を取り入れつつ、今ある真庭を盛り上げる。 M・U
- 農家に優しい真庭市をめざす。 H・I
- 学校全て無償。才能があってもお金がなければ才能が発揮できない。 R・M
- 真庭市以外の市との連携・交流の政策を進めたい。 T・N
- 自然で遊べる場所をつくる。 M・O
- 真庭市を全国にPRして観光客を増やしたい。 T・A
- 真庭のおいしい食材を使って料理やお菓子を作って広めたい。 M・S
- 夕方のバスと汽車の運行本数を増やす。 M・M
- 交通事故を減らすためにカーブミラーを設置してほしい。 M・J

聞きました

てみたいこと



おかげさまで50号

『新市誕生から5か月、ようやく「議会だより」創刊号の発行の運びとなりました。申し上げるまでもなく議会の広報は、単なる情報の公開だけでなく、市民の皆さんと議会との信頼関係を築く架け橋の役目をもっていると思います。』

平成17年5月1日のNo.1号の編集後記にあります。金谷光二委員長のもと12人の編集委員で28ページ・2色刷りの議会だよりが大切に保存されています。あれから13年、第50号の発行です。「50号企画として、50号から高校生50人に聞きました」を特集しました。いかがでしたか。レイアウトは日本広報協会から直接ご指導いただき、議会からの報告だけでなく、市民目線を知って得する紙面となるよう工夫しました。これからも頑張りますのでよろしくお願ひします。

議会広報編集特別委員 歴代メンバー

◎委員長 ○副委員長

第1～3号

◎金谷光二 ○福井孝行 森田一文 河部辰夫
伊東恭一 小原靖弘 長尾泰行 加藤大悟
古南源二 草地秀育 長尾政則 小田康文

第4～8号

◎草地秀育 ○福井孝行 森田一文 金谷光二
河部辰夫 伊東恭一 小原靖弘 長尾泰行
加藤大悟 古南源二 長尾政則 小田康文

第9～15号

◎福井孝行 ○小田康文 谷口宗一 森田一文
遠藤正明 妹尾素男 奥田一雄 西村 宏
宮田精一 加藤大悟 岡崎陽輔 井藤文仁

第16～23号

◎築澤敏夫 ○岩本壯八 氏平篤正 妹尾智之
長尾 修 中元唯資

第24～31号

◎築澤敏夫 ○氏平篤正 妹尾智之 福井荘助
福島一則 宮田精一

第32～39号

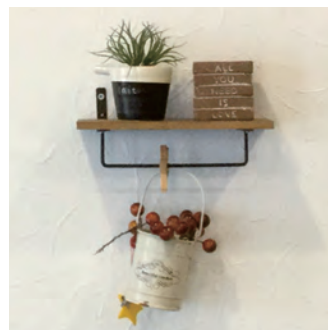
◎氏平篤正 ○原 秀樹 入澤廣成 緒形 尚
草地秀育 福島一則

第40～47号

◎原 秀樹 ○緒形 尚 池田文治 柿本健治
妹尾 昇 初本 勝

第48号～

◎緒形 尚 ○氏平篤正 古南源二 柴田正志
庄司史郎 原 秀樹



高校生50人

勝山高等学校 24人
同 蒜山校地 6人
真庭高等学校 10人
久世校地 10人
落合校地 10人

高校生の皆さん、
ご協力ありがとうございました



50号企画

50号だから高校生50人に

議員になったら やっ

9 月定例会

会期 9 月 8 日 ~ 9 月 29 日

平成 29 年度 9 月補正予算額

1 億 7,183 万 9 千円

を可決しました。

	9 月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	6,512 万 2 千円	329 億 7,438 万 1 千円	2.5% 増
特別会計	1 億 659 万円	142 億 9,477 万円	0.5% 減
公営企業会計	12 万 7 千円	73 億 5,776 万 2 千円	14.0% 増

【主な内容】 今回の一般質問は 13 人。

- ・特に緊急を要する事務事業等の補正予算 6 件を可決。決算 15 件を認定。
- ・指定管理者の指定など議案 14 件を可決。陳情 1 件を採択、1 件を不採択。

補正後予算総額

546 億 2,691 万 3 千円

対前年比

16 億 4,247 万 9 千円 (3.1%) の増

企業会計

地方公共団体が経営する企業であり地方公営企業法が適用される会計。民間企業と同様。

① 農業共済事業、② 水道事業、③ 下水道事業、④ 国民健康保険湯原温泉病院事業の 4 会計。

特別会計

特定の事業・資金などについて、一般会計から区分してその収支を別個に経理するための会計。特定の事業を行う。

① 国民健康保険、② 後期高齢者医療、③ 介護保険、④ 介護保険（介護サービス事業勘定）、⑤ 簡易水道事業、⑥ 浄化槽事業、⑦ 津黒高原観光事業、⑧ クリエイト菅谷事業、⑨ 温泉事業の 9 会計。

一般会計

福祉・教育・土木・衛生など、市の基本的施策を実施するための経費を計上した会計。歳入には、市税・地方交付税・国庫支出金等がある。全市民が対象。

会計の区分

用語の説明

美川学区における放課後児童クラブの開始等に伴う施設改修経費等として 49 万 1 千円を計上。バイオ液肥を活用した中山間地域低コスト農業モデル確立事業として 1 千万円を計上。クリエイト菅谷の萱葺民家火災箇所の復旧工事に係る

経費として 324 万円を計上。就学援助費支給事業として 595 万 6 千円、久世こども園への給食配送開始に伴う遷喬学校給食共同調理場等へのエアコン設置経費として 2,183 万 9 千円を計上。真庭市情報化施設整備基金積立金 2,110 万 9 千円を減額。

衆議院議員総選挙の執行に要する経費として 2,982 万 2 千円を計上しています。

衆議院選挙に 2,982 万円

一般会計 補正予算 主な歳出

指定管理者は エスパス文化振興財団

真庭市地域情報化施設である真庭ひかりネットワークの指定管理者として、公益財団法人真庭エスパス文化振興財団が決定しました。（総務常任委員会所管）

また、真庭市久世エスパスセンターの指定管理者にも同財団が決定しました。

（文教厚生常任委員会所管）

どちらも公募に対し応募した団体は一団体のみであり、5人の委員で構成された真庭市指定管理者選定審議会で審査した結果、妥当であると判断されたことから、平成30年4月1日から5年間、引き続きエスパス同財団へ任せることを決めました。

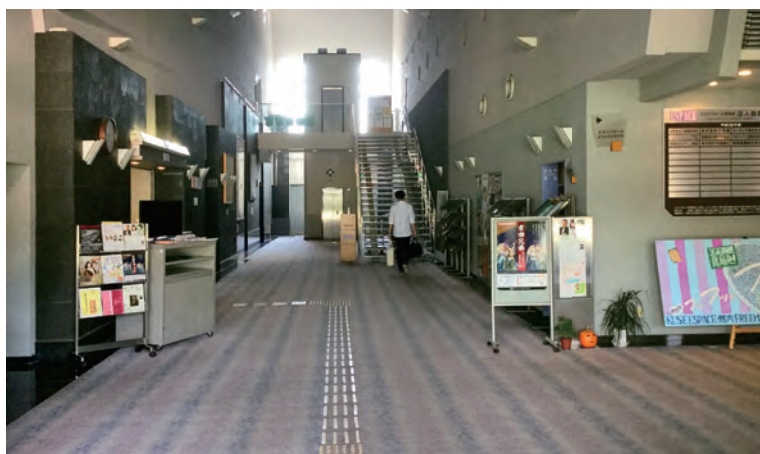
主な 議決 内容

Q エスパス振興財団の理事長が、池町誠二氏から澁澤壽一氏に代わった。新しい理事長は東京の人だが、緊急時に対応できるのか。

A 7月4日の理事会で変更した。東京からは2時間もあれば来られるので問題はない。澁澤氏は中和の「なりわい塾」の塾長であり、いろいろな面で真庭市と関わりのある人であるので、連絡や情報共有は可能である。

Q エスパスは、真庭市の文化振興財団だが、真庭市全体の文化振興をどう考えているのか？

A 文化の薫り豊かな潤いと活力ある地域社会の創造と発展に寄与するという理念に基づき、今後は真庭市全体の文化振興にも取り組んでいく。



エスパスエントランス エスパスとは仏語で空間という意味



旧遷喬小は静、エスパスは動、躍動する塊をイメージ

地域を守る 消防団員を 募集



閩市役所3階・危機管理課 Tel (0867) 42-1126
(写真は久世中学校のいきいき出前講座から)

消防団員の定数が 2,800人から2,650人に

2,800人だった定数を150人減らして、消防団員数を2,650人にしました。これは、現状の数字により近づけたもので、定数を減らすことにより消防団員退職報酬負担金、事務費負担金などが94万円削減できます。

また、寄附金を寄付金へ変えるなど、条例の文言を今の法律用語に統一しました。

Q 女性消防団員が増えたり、地域を守る団員が増えたらどうするのか？

A 消防団と団員状況に合わせてと約束して



整列 久世方面隊第1分団第1部

主な 議決 内容

蒜山山菜そば 茶屋条例を廃止



廃止された蒜山山菜そば茶屋

本施設は、平成26年度からは、指定管理者の受け手がなく、閉鎖状態となっていました。施設周辺では、民間による郷土料理の提供や交流が行われ、本施設の設置目的が代替的に果たされていることから、公の施設としては用途廃止しました。

8施設の指定 管理者を決定

- 川上老人福祉センター・川上デイサービスセンター・川上保健センター・八束老人福祉センター・中和デイサービスセンターの指定管理者に社会福祉法人真庭社会福祉協議会を指定しました。
- 佐引中・溝ヶ嶋地区飲用水供給施設の指定管理者に佐引水道組合を指定しました。
- 杉成地区飲用水供給施設の指定管理者に杉成水道組合を指定しました。
- 本郷宮木地区飲用水供給施設の指定管理者に本郷・宮木水道組合を指定しました。

陳情

●採択された陳情（計画的な教職員定数改善を推進すること。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することを国の関係機関へ意見書提出）

●不採択の陳情（欧米で当たり前となっている経営を下支えする政策を確立し生産費をつぐなう農業者戸別所得補償制度を復活させ、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを国の関係機関へ意見書提出）

▼陳情採択に賛成した議員：福島一則、柿本健治、岡崎陽輔、原秀樹

▼賛成しなかった議員：

氏平篤正、山本久恵、妹尾智之、岩本壮八、竹原茂三、柴田正志、緒形尚、中元唯資、初本勝、大月説子、庄司史郎、入澤廣成、福井莊助、中尾哲雄、古南源二、築澤敏夫、河部辰夫、小田康文、谷本彰良

※ 議席番号順

●継続審査の陳情（全国森林環境税創設の意見書採択に関する陳情

傍聴される方は4階へ



6月16日の議場の傍聴席は満席で追加のイスを出しました

真庭市議会の本会議・委員会を間近で傍聴してみませんか。議会だよりの紙面では、お伝えできない議員の生の活動が伝わってきます。

傍聴を希望される方は、議会開会中に真庭市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席用意しています。

また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。

契約

行政告知放送整備工事を8億6,292万円で、岡山市の(株)NTTフィールドテクノ中国支店岡山営業所（森聖史所長）と工事請負契約を締結。予定価格が1億5,000万円を超過するので議会の議決が必要となります。

平成28年度 決算

委員長…竹原茂三
副委員長…柴田正志

決算審査特別委員会は、9月15日の本会議で付託された平成28年度真庭市一般会計決算認定ほか、特別会計、企業会計、計15件を、9月21日、22日に審査しました。その概要と、本会議で監査委員から報告があった財政状況の内容をお知らせします。

議場▶



一般会計歳出決算額 319億8,475万円 13億3,335万円の黒字
特別会計歳出決算額 156億5,092万円 7億1,621万円の黒字

一般会計と特別会計の決算状況

平成28年度一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入総額は496億8,523万5,564円、歳出総額は476億3,567万1,805円であり、歳入歳出差引額は20億4,956万3,759円でした。一般会計特別会計、企業会計決算15件はいずれも認定すべきものと認めました。

平成28年度 歳出決算額の一覧表

区 分	歳出決算額
一 般 会 計	319億8,475万753円
国民健康保険	59億0,535万4,440円
後期高齢者医療	7億1,403万9,821円
介護保険	57億3,563万1,804円
介護保険 (介護サービス事業)	4,249万1,407円
特別会計 簡易水道事業	9億7,046万9,234円
浄化槽事業	1億1,839万4,913円
農業集落排水事業	4億8,503万2,534円
公共下水道事業	15億2,877万0,918円
津黒高原観光事業	2,937万8,894円
クリエ・お谷事業	646万5,116円
温泉事業	1億1,489万1,971円

監査委員の報告から

実質公債費等は改善傾向だが、交付税の減額で厳しさが増している。

財政力指数は0.307で、前年度に比べわずかに低下しました。実質公債費比率については8.8%で0.4ポイント、起債制限

普通会計における財政分析の状況

区 分	平成28年度	順 位 (県内15市中)
財政力指数	0.307	13位
経常収支比率	87.4%	3位
実質公債費比率	8.8%	6位
起債制限比率	4.6%	4位

比率は4.6%で0.5ポイントそれぞれ低下し改善傾向にある。反面、経常収支比率は普通交付税の段階的縮減措置の影響を受け、87.4%で、前年度と比較して4.3ポイント低下しました。これらのことから、平成28年度の財政状況は、前年度に比べやや厳しさが増している状況になりつつあると言えます。

財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示すもの。数値が1に近いほど財政力強い団体であるといえる。

経常収支比率

財政構造の弾力性を示すもの。この比率が大きいほど財政の硬直化が進んでいるとされ、85%以下が望ましいとされる。



実質公債費比率

一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率。25%以上になると早期健全化団体、35%以上になると財政再生団体となる。

起債制限比率

公債費比率に一部補正を加えた比率。過去3年度平均で15%を超えている団体は、特に地方債の管理に配慮する必要があるとされている。



真庭産材をふんだんに使った真庭火葬場 10月1日から利用しています

総務常任委員会

委員会開催内容

8月21日に自主防災組織との意見交換を、6月22日、7月3日、7日及び8月25日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

■自主防災組織との意見交換会

市内すべての自主防災組織を紹介して意見交換をすることが難しいことから、今回は各地区から組織数の多い団体をピックアップし、参加可能な9団体から総勢11名が参加され、意見を交換しました。

参加者からは、現在行っている活動、組織で力を入れている点、組織の中で困っている点、防災マップのこと、防災士のことなどの意見が出されました。

委員会としてはそれぞれの組織で力を入れて活動していることに感謝し、安全なまちづくりをするためにどのように取り組んでいく

か考える材料にしていくと締めくくりました。

《振興局》

■湯原振興局庁舎整備に向けた検討状況

現庁舎は、昭和26年に小学校として建てられ、昭和46年から旧湯原町役場として利用されてきた。老朽化も著しくなっており、今後の庁舎のあり方や整備について「真庭市公共施設見直し指針」や、先般策定された「公共施設等総合管理計画」等に沿って検討しており、基本的な考え方は既存施設を利活用し、施設の複合化・集約化とし、検討委員会・作業部会を組織し、検討調査を行っているとの説明がありました。

Q 地域のまちづくり・拠点づくりの観点、土砂災害等考慮した上での位置づけ、地元の意見をどのようにして聞いていくのか。

A 今ある施設を一つにしての拠点づくりは難しいと考え

成夫正子良樹助恵
廣敏篤説彰秀莊久
澤澤平月本 井本
入築氏大谷原福山
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員
委員長 委員 委員

ている。特別警戒区域の調査を行う予定である。また、地域づくり委員会からの質問事項もあるので市の方針が固まった時点で再度地域づくり委員会に説明する。



119番緊急通報を受信する美作地区消防指令センター

《消防本部》

■指令の現場を視察

真庭市消防本部において、待機室・車庫・各車両等の説明を受けた

後、交通事故を想定した消火活動と救助訓練が実施されました。自動心臓マッサージ機を装着、ビデオ喉頭鏡で挿管し、ルート確保とアドレナリンを投与するなどの訓練を視察しました。

また、真庭・津山・美作の3消防本部を1つに集約した美作地区消防指令センター（津山圏域消防組合消防本部内）では、緊急車両の活動状況など、指令業務で必要な各種情報を大型画面で表示し、情報を共有しながら指令が行われていました。

《総合政策部》

■指定管理事業実績報告・モニタリング結果報告

報告で特徴的なところは、経営改善努力・収益増・接客のマニュアルなど質の高さを評価し、㈱グリーンピア蒜山をA評価。地域への貢献度・ブランドイメージ・集客力を評価し、ひるぜんワイン㈱をA評価としていたとの説明がありました。

Q 種類別など経営手法等の横連絡を行っているのか、補助金頼みの経営になっていないか。

A 収益が上がる施設と管理している施設とで一概には言えないが、意見を参考に対応していきたい。

文教厚生常任委員会

委員会開催内容

6月22日、7月26日、8月21日及び25日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

■福祉向上を目指して意見交換

8月21日の委員会では、福祉課による事前研修と「ワークプレイスまにわ」「ドアーズ落合工場」の現地視察により認識を深めた後、委員会として今後の福祉向上に向けた施策に反映させていくことを目指し、「障がい者の就労支援のあり方について」をテーマに、真庭地域自立支援協議会11名の方々と意見交換を行いました。

《教育委員会》

■地域の将来と学校のあり方を共に検討した適正配置方針を

真庭市立小中学校適正配置実施計画に基づき、平成29年度中に極小規模校の適正配置に関する方針



新たに設置されたバイオ液肥スタンド 落合総合センター

を決定する予定となっており、進捗状況についての中間報告がありました。

二川・余野・楳島のいずれの小学校においても、教育委員会から、教育環境の整備について意見交換さ

治尚輔二之三勝則
健陽源智茂一
本形崎南尾原本島
柿緒岡古妹竹初福
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員
副委員長 副委員長 副委員長

せていただきたい旨を学校長へお願いし、PTA等との意見交換を開催する方向で協議を進めているとのことでした。

委員からは、「地域住民とPTAが、地域の将来と学校のあり方を共に検討し、一定の方向性を出すような形で進めてほしい」という意見が出されました。

《生活環境部》

■火葬場利用案内は市民に伝わりやすいものに

10月から運用開始の真庭火葬場の利用方針について説明がありました。市民向けの「利用案内」の案が提示され、広報紙やホームページで広く市民に周知するほか、葬祭ホール職員への説明会も行うとのことでした。

Q「利用案内」のうち、有料の待合室の説明部分に、いわゆる「家族葬」ができることが伝わるように「家族でのお別れ会」といった表現を加えてはどうか。

「家族葬」ができることが伝わるように「家族でのお別れ会」といった表現を加えてはどうか。

A 説明を追加してわかりやすくするとともに、新しい施設の意図が利用者の方にご理解いただけるよう葬祭業者の方にも周知徹底を図っていきたい。

■地域提案で候補地を選定

生ごみ等資源化施設整備に向けた今後の対応方針として、地域提案による候補地選定を行う予定であることの説明を受けました。

バイオ液肥の臭気等周辺環境に対する不安が大きな課題となっていたが、行政主導ではなく、地域提案を受け、農業振興・地域振興策を地域と共に練っていくことで地域の不安も和らげるのではないかと考え、公募することにした。10月から来年1月末まで募集を行い、選定委員会（仮称）による専門的な評価を経て、平成30年6月末までに候補地を選定する予定とのことでした。

Q 「提案地域」と「周辺地域」のそれぞれが指す意味は。「提案地域」には振興策や支援策があるが「周辺地域」にはどうなのか。

A 「周辺地域」は、地理的な連続性や水の流れ・車の流れ等の環境をふまえて判断するもので、関連インフラや環境整備等の支援策や振興策は、必要であれば周辺地域も含めて検討していきたい。

産業建設常任委員会

委員会開催内容

7月26日に観光関係団体との意見交換会を、6月23日、7月12日及び8月24日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

■観光をテーマに意見交換

観光地域づくりの実現に向けて現状や課題を共有し、今後の施策等に生かすため、観光関係団体と意見交換会を開催しました。

一般社団法人真庭観光連盟の宮田守之会長をはじめ、蒜山・湯原・勝山・北房の各観光協会の代表者ら9人が参加し、滞在型観光の促進やインバウンドに対応した受入環境整備、地域住民の観光への参画の3つのテーマについて意見を交わしました。

各地域の取り組み状況が報告された後、情報発信窓口の一本化や敬遠されている有料の高速道路、訪日外国人向けの無料公衆無線L

AN(WiFi)整備の必要性などの課題が話し合われました。地域への経済波及効果が高い観光分野の振興に取り組んでいくため、今後も委員会として議論を重ねていきます。

《建設部》

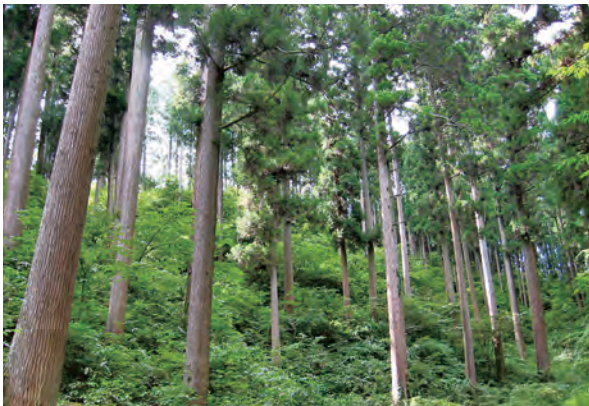
■下水道の処理区域を縮小

下水道課から、下水道事業の現状について説明がありました。真庭市の污水处理普及率は平成28年度末で81.9%、水洗化率は60.8%である。下水道事業は、地方公営企業法の適用など一層の独立採算性が国から求められているが、一般会計からの繰入に頼る厳しい状況が続いている。人口減少などの社会情勢や財政状況に応じた適正な事業規模とするため、污水处理区域を縮小した。また、計画区域内であっても、接続意思のある確約書提出が8割未満であれば工事を行わないこととしている。今後も決算状況等を見ながら見直しを実施

していくとのことでした。

委員からは、公共下水道接続を心待ちにしている人もおり、污水处理区域から外れる地区に対しては説明や浄化槽の設置を促す取組が必要ではないか等の意見が出されました。

夫郎八文志修雄資
辰史壯康正 哲唯
部司本田田尾尾元
河庄岩小柴長中
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員
委員長 委員 委員 委員



真庭市内の森林

《産業観光部》

■森林認証の促進を支援

林業・バイオマス産業課から、真

庭産木材の森林認証「SGEC」を促進するため、システム改修を行う木質資源安定供給協議会に150万円を補助するとの報告がありました。

「SGEC」は、森林経営の持続性や環境保全への配慮など一定の基準に基づいて森林を認証し、認証された森林から産出される木材を分別して表示管理することにより、消費者に選択的な購入を促す仕組み。東京オリンピック・パラリンピックで使用される木材は認証材が要件となっている。同協議会は産地証明を含め、流通・精算までの情報をITを活用して効率的に管理できる仕組みを既に構築されており、さらに、認証材の証明書発行機能が追加されることにより、真庭産材を認証材として出荷することが可能になるとのことでした。

《振興局》

■湯原温泉郷として計画見直しへ

湯原振興局から、昭和31年度に策定されたままとなっている国民保養温泉地計画について、現在の湯原温泉だけでなく、下湯原・真賀、足温泉も含め、湯原温泉郷として、平成29年度中に見直すとの説明がありました。温泉資源を活用した地域活性化や魅力向上に取り組んでいくとのことでした。

●会議は通常午前9時
30分に開会します。
●正式には11月22日の
議会運営委員会で決
定します。

1日(金)本会議(開会、提案説明)
7日(木)本会議(一般質問)
8日(金)本会議(一般質問)
11日(月)本会議(一般質問)
12日(火)本会議(議案質疑、委員会付託)
13日(水)常任委員会
14日(木)常任委員会
15日(金)予算審査特別委員会
20日(水)本会議(委員長報告、

まにぞう



議院もろく



真庭市議会

9月定例会

一

般

質

問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています

初本

勝議員

最近旭川にアオミドロが発生している

問

河川環境は、市長をはじめ担当課の職員の皆さんに努力していただき感謝している。以下のことを伺う。旭川、備中川の対応について県とどのような話し合いができて、対応しているのか伺う。最近旭川にアオミドロが異常に発生している。その原因と対策について伺う。真庭市の発展には、旭川、備中川が大きなウエイトを持っている。全ての生命を維持するためになくてはならないのが水で、小さい頃から水と戯れて、蜚等の水生昆虫、魚を観察する環境づくりが必要との思いがある。どのように思われるか、また学校での取組みを伺う。

答

太田市長

水というのはその地域のイメージの象徴で、水が汚い地域はイメージが非常に

学校給食の地産地消は三方両得になる

古南源一議員

何を狙っているかという
と農業の場合、この物を
こちらに持って行き加工す

ると、その間に付加価値が
生まれ、雇用が生まれる循
環型経済をつくっていき
たい。学校給食は4,200食
だから全体の野菜量は少な

問

学校給食に地産地消を
推進するのに難題山積と心
配している。市内でも近く
の納入先が移転したり、規
模が大きくなると価格面で
小さい商店は納入できなく
なって閉店した店もある。
生産者も商店も子どもたち
も喜んでくれるような三方
両得になるようなシステム
の構築を望むが、学校給食
に市内産の野菜等の納入推
進はどのような形で進める
のか。

答

太田市長



地元産品が並ぶ道の駅風の家（蒜山地域）

いが耕作放棄地を作らない
ことも含めた農業振興。地
元の物を作っていただき食
べるという教育（郷育）。ま
た、環境ということができるだけ
輸送という手段を取らない
ということがあると思う。
産業観光部と教育委員会が
連携して学校側で使用品目
の納入規格を整理し、農業
側では、学校側の求める品
種の栽培を研究することで
需要と供給とでマッチング
させたい。複雑な難しい問
題はあるが、関係するところ
ろと一緒にあって農協、農
業団体、小売業者と地産地
消を拡大していく。その一
番まとまった形が学校給食
なので、生産者も小売も卸
業者も子どもたちも喜んで
くれるようなシステムづく
りをしていきたい。

悪い。まさに環境のバロメーターであり、地域イメージの象徴だと思っており、岡山県の恥だと思う。三大河川が地形上はきれいに流れながら、毎年国の水質検査でワースト4の中に3つとも入る。県はどうしているんだとずっと私の憤りに近いものであり、8月の県知事要望に、旭川のさらなる水質改善と河川敷の雑木等、河川の浚渫を重点項目



清流旭川 左の橋は勝山・中橋

として出し、知事とも話をしている。もつと市民の皆さんの声を上げていただきたい。アオミドロの発生原因対策は、一般的には水中の栄養塩類の量・光・水温・水量も関係すると言われ、適度な河川の攪拌とか、ちよつとぐらい水がでないとかダメだのこの。現時点でBOD生物化学的酸素要求量の値は満たしている。

発生調査を県に要望していきたい。水との触れ合いの大切さ、非常に大切なことで、川に触れ、生き物を知り、子どもたちにとって非常に大事なことだ。出前授業をしている。

答

三ツ教育長

いわゆる郷育の理念で、ふるさとを大切に思う心は身近な環境に関わることで育まれる。

柴田 正志

議員

真庭版健康ポイント制度の仕組みづくりと実施の提案

問

医療費削減が政府、地域の共通の課題となり国民の健康寿命の延伸をはかり、市民をいかに健康づくりにつなぐことが重要なテーマになっている。市民の健康づくりの為に運動や健康診断の受診に対して特典ポイントをつけ、健康づくりにお得に楽しく取り組んでもらう仕組みが健康ポイント制度である。

①元氣な真庭市の大切な役割を担っているシルバー世代の健康増進活動を応援すること。②



若代地区で行われている朝のラジオ体操

真庭市のスポーツ振興の課題「スポーツをしない人は全くない」その人達がスポーツをする契機となる可能性がある。③増加が予想される医療・介護の社会保障費をスポーツなど通じて健康度を高め、健康寿命の延伸を図り、社会保障費の削減につながる可能性がある。④真庭版ラジオ体操は、市内各地で行われ、そこに新たなコミュニ

答

太田市長

ティーが生まれ、市民の元氣と健康の一助となり価値がある。その真庭版ラジオ体操の普及につながる可能性がある。⑤定期検診、人間ドックの受診を推進する力がある。以上、5つの真庭市の課題が、健康ポイントを付与することにより解決する可能性がある。国の補助事業にもなり、現在約260の自治体で導入されているこの制度は、取り組む自治体の熱意と企画力が成功の鍵となる。真庭版健康ポイント制度の仕組みを作り、取組むと想定した場合の障壁・課題について伺う。

私どもも総合計画で健康づくりを重要な項目にあげており、真庭市にふさわしい形で何かできないか研究をしていきたい。課題として、過度な財政負担にならないようにしたい。また真庭全体で自分のことだけでなく地域の為に頑張っている。そういう中で特定のものにポイントというものはどうか、もう少し広く市民的議論もして研究していけばと思う。

妹尾智之 議員

24時間営業のコンビニエンスストアへのAEDの設置

問

心肺停止者の救命に当たっては、心肺蘇生開始まで1分遅れるごとに生存率が約10%低下すると言われており、心肺停止からの数分間における迅速な措置が重要である。AEDを効果的な場所へ配備し、有効に活用



真庭消防署でのAEDを用いた訓練風景

すれば、救える命はたくさんある。本市でも、公共施設などにAEDの設置が進んでいるが、夜間及び休日は施設が施錠されているため利用できない場合がある。市内の24時間営業しているコンビニエンスストアの御協力をいただいて、本市がAEDの貸出し設置を行い、救命を目的に使用していただく事業を創設すべきであると考えているが、市長の御所見を伺う。

答

太田市長

昨年に設置をしていただけないか働きかけをした。日

本フランチャイズチェーン協会の規定で、AEDの設置費用は行政側が負担する場合にしか設置できない。日本フランチャイズチェーン協会に、全国市長会と相談し、働きかけをしていきたい。

無料公衆無線LANの整備

問

観光振興の観点から伺う。外国人観光客のニーズを考え、観光地への無料公衆無線LAN、Wi-Fiの整備をしてはいいかがか。

答

太田市長

真庭市としては28年度から市の管理する観光施設に観光庁のウェブサイトを、Japan Free Wi-Fiがあり、それに接続できる無料のLAN、Maniwa Free Wi-Fiの設置を進めている。「観光回廊真庭」誘客協議会を通じて、Maniwa Free Wi-Fiの設置を呼びかけている。Wi-Fi環境の整備は大事であり、頑張つてやっていきたい。

小田康文 議員

博物館の設置はもう少し時期をずらしていく

問

来年4月に閉校となる北房地域の4小学校の跡地については、いまだ利活用のめ



閉校後に歴史博物館としての利活用が望まれる中津井小学校

どが立っていない。北房地域の太谷1号墳や定古墳群は2008年に国の史跡にも指定されており、出土品の一部には、岡山県指定重要文化財である金銅装双龍環頭大刀や多数の金の装飾品がある。文化財をきちんと管理された環境で保存し、次世代へ伝え残していくことは、現世代の責務であること。郷育の推進を図り、郷土愛を育むためには、郷土の歴史文化を理解するための施設が必要であること。新たな用地を求めることなく、古墳群に近く、最適地に設置可能であること等を理由として中津井小学校跡地に歴史民俗資料館を設置すべきであると思うが、市長、教育長の見解を伺う。

答

太田市長

優先順位として、中央図書館を建築中である。市立図書館の整備に

全市挙げて取り組んでいきたい。もう少し真庭が一体的になる中で、どういう場所に、どの程度の規模の博物館を設置するのかということを考える。時代の流れとか時間の流れとかの中で市民意識の熟成が必要であると考えている。

答 三ツ教育長

市民が郷土の歴史や文化を学び、知り、ふるさとへの思いを育てることは郷育の中心理念である。郷育を進める上で、重要な素材となる歴史民俗資料は市内各地の展示収蔵施設に分けて収蔵してある。教育委員会としては、資料をまとめて収蔵し、あわせてテーマに沿った展示や関連イベントの開催などにより、資料を広く公開する機能的なスペースの確保が必要である。しかし、歴史民俗資料館等の博物館の設置は、真庭市全域に係る集約的な施設となる可能性を踏まえ、今後市長部局と連携しながら類似施設の統合や市全域のバランスを考え、慎重かつ総合的に検討する。

岩本 壯八 議員

観光客増加へ 戦略的投資と 新たな観光開発を

問

観光は交流人口を増加させ、地域の活性化に大きく寄与する。旅行業、宿泊業、飲食産業、アミューズメント産業、土産物品産業、旅行関連産業等、幅広い分野を通じて産業や雇用創出に大きな役割を果たす。真庭市は観光入込客数の目標を年間500万人としているが、県南は増加しているものの蒜山高原は年々減少。市内観光地も同様な傾向。原因としては、今までの業者意向に沿った観光にあるのではないかと。マーケティングに転換しないとこの傾向は改善しない。観光客が必要とするもの、市に求められる観光の魅力とは何かということ。①市内には多くの自然景観、歴史や文化、郷土食、各種施設など、内から見れば魅力的と思われる資源

が散在しているが、合併以来どこをどのようにブラッシュアップしてきたか、戦略的投資をしてきたか、新たな観光開発ができたか②市の観光の魅力は、人と自然に尽きる。人であれば、当たり前だが、訪れる人には非日常であることが多い。自然では、蒜山高原を代表として自然景観は誇るべき大きな魅力。市内には自然をキーワードとした施設がある。自然を楽しむ観光客が来訪していただける循環が長い目で見れば持続可能な観光である。観光客増加や地域活性化にも連動するエコツーリズム推進協議会を立ち上げるべき。

答 太田市長

広大な真庭市の中に自然の豊かさ、景観のすばらしさ、歴史文化など多様な地域資源もある。広域に



雄大な自然を体感 蒜山高原

なつて、これをいかに連携し結びつけ、より魅力あるものにしていくのかが大変重要。もつと掘り出していけば、可能性を探っていけば、それから資源というのはある意味では創るものだから、創っていけば相当のことがやれると思う。いろんな方の御意見いただきながら、より魅力を出す、作り出していくということをしていきたい。

岡崎 陽輔 議員

市民の命守る行動 計画、一体型タイ ムラインの策定を

問

気候変動によって新しいステージに突入したと言われる防災対策。甚大な被害をだした九州北部豪雨、関東東北豪雨・広島安佐区など地球温暖化の視点から、降水量の増大、集中化、台風の巨大化、最高瞬間風速の記録更新、竜巻頻度の増加など、気象条件の変化に対応した防災、減災の有り方が求められる。砂防、防災施設など、老朽化、劣化が懸念される既施設の機能強化や危険箇所洗い出しなどハード整備の計画と市民の命を守るために、国、地方公共団体、公益事業者が連携して対応する関係者一体型行動計画の策定が重要だ。策定する考えはないか。

答 太田市長

砂防・治山施設の整備は、県の権限と責任だというだ



地震で大きな被害を受けた熊本城 再建まで20年かかる

前ページから

けでなく、市としても危険箇所を把握し、地元要望があればそれを踏まえて、整備について県に働きかける。今年度を目途に、現在のタイムラインを、単独のものを関係者一体型のものになるように改良して、市民の安全・安心、生命の確保につなげたい。

課税通知書への マイナンバー記載 は見直すべきだ

問

マイナンバーが記載された住民税特別徴収課税通知書が郵送された。自治体によつては、個人情報保護の観点から、個人番号を記載しない判断をした自治体も多くある。日本弁護士連合会は、4月、個人番号記載欄を除却することを求める意見書を出し、見直しを国に勧告している。真庭市として番号記載を見直すべきだ。

答
太田市長

特定の個人の収入を一元的に把握するのは当たり前で、マイナンバー制度が出来るので見直す考えはない。ご意見も参考にしながら、なるべく事故が起こらないように再度、事務の見直しはする。

大月説子 議員

幼児・学童インフルエンザ予防接種の費用負担の検討

問

幼児学童がインフルエンザの予防接種を受けることは、重症化の予防に有効と言われている。真庭市のインフルエンザ予防接種の料金は3,555円で、自己負担額が2,300円、公費1,255円である。幼児学童は、2回接種が原則であるため経済的負担がある。予防接種を推奨するため公費の見直しについて市長の見解を伺う。

答
太田市長

インフルエンザワクチンは、任意接種ではあるが感



放課後児童クラブ美川っ子

染症の蔓延と重症化を防止することから前向きに費用負担の軽減を検討する。

問

放課後児童クラブ 子育て支援員の 登録制度を提案

放課後児童クラブは、保護者が運営主体であるが、支援員の確保に大変苦慮している。放課後児童支援員の役割は、子ども達の発達段階を考慮して育成支援に当たると同時に保護者や学校との連携も重要であるため、子育て支援員の登録制度の導入と、運営協議会の設置を提案し、市長の見解を伺う。

答
太田市長

支援員の登録制度は、支援員確保のための有効な方法の一つである。しかし名簿の共有についてはプライバシーの問題があるなど様々な意見もある。学童保育連絡協議会と相談しながら子育て支援員の確保に努めていく。

答
稲田健康福祉部長

現在真庭市全体で104名の子育て支援員がおられる。支援員は、どのクラブも悩みながら確保しているのが実情と思う。新たな子育て支援員について、公募という形で募って安全で安心なクラブ運営ができるように努めていく。



秋晴れの真庭市役所 右下の真庭回廊が美しい

柿本健治 議員

良質な公共サービスの提供

問

国は働き方改革の基本的考えで、非正規労働者が頑

張ろうという意欲をなくす事が課題と指摘。真庭市も定数削減、少数精鋭に努めてきた。多くの職種において、任期付短時間勤務職員や臨時職員が働いているが、住民から信頼される「良質な公共サービス」の提供を確保するには、非正規職員の処遇改善が必要と考える。非正規職員の職種及び任用数の実態はどのようなになっているか伺う。

答 太田市長

非正規問題は大事な問題であり、結婚したくてもできない。そのことが出生数全体が落ちてくることに影響。真庭市としては、できる限り処遇改善をしており、平成23年度に任期付き職員制度を導入した。非正規職員の実態は、保育士・幼稚園が126人、給食・校務が99人、福祉系41人施設管理ほか164人となっている。

ホームページによる広報

問

行政情報の発信や、真庭地域への誘客活動を行なう上で、ネット活用は重要と考える。真庭市のホームページと関連サイトとのリンクは不可欠な対応。関連サイトに真庭市の施設の利用方法や料金が掲載されているが、利用条件が制度改正などにより変更された場合、掲載内容を変更する事が求められるが、変更はどのように行われているか。

答 太田市長

真庭市のホームページは全体として充実していると思う。平成26年度にリニューアルしてアクセス数も増えている。関連サイトも軒並み増えている。関連サイトの運用は、それぞれが責任を持つことが当然である。常に情報共有をしながら関連サイト設置者にきちつとしていただく以外ないと思う。

庄司史郎 議員

福祉団体への事務負担金を30年度に0円とするのか

問

老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、手をつなぐ親の会、遺族会連合会の福祉団体に対する団体事務負担金を、真庭市社会福祉協議会助成の適正化に関する基本方針に基づき0円とするか伺っている。

私は各福祉団体との協議

が十分にできていないと思っている。十分な相互理解のもとに適切な援助を行うことが重要であると考えている。現段階で4福祉団体との協議と理解は十分できていると考えているか。4福祉団体との相互理解が不十分である場合でも事務負担金は平成30年度において廃止するのか。

答 太田市長

老人クラブにしても高齢の方々が意欲をもって生きていく、そして連携していくという非常に重要な団



真庭地域老人クラブスポーツ大会 落合総合公園 多目的グラウンド

前ページから

体である。団体として自主的に頑張っていたきながら、しかし、様々な要件でそれだけではできない、行政も支援していきましようということ、補助金を交付してきたし、今後もその位置づけで補助金を出していく。身体障がい者福祉協会、手をつなぐ親の会、遺族会連合会にしても同じである。30年度に理解が不十分でも廃止するのか、そういうことはしない。真庭市と社会福祉協議会と関係団体と相互理解のもとに進めていきたい。何年度とかいう目標もいる。それでも、それができない段階で、それをばつと打ち切るようなことはすべきでない。する気はない。現段階において協議と理解は十分でないと思っている。3者で十分話し合いをして、それぞれの団体も本来の目的、課題も持っておられる。それぞれの団体がより目的を達することができるような団体になるように、こちらも支援し、それぞれの団体もそういうことで頑張っていたきたい。

原 秀樹 議員

介護予防・日常生活支援総合事業の検証と計画を問う

問

市は、介護予防・日常生活支援総合事業を一年前倒しで実施された。内容は、元気はつらつデイサービス事業とお助け訪問事業である。いずれも市の単独実施である。報道機関の全国調査では、軽度介護に苦慮との回答が45%を占めた。事業所側の最大苦慮要因は、人材確保・送迎手段の確保と採算性の低さから、撤退などの混乱も起きている。私の独自調査では、利用人数も極端に減少傾向の実態がある。また利用者側では、6か月利用

答 太田市長

後の卒業制度に問題があるとの状況である。制度実施から1年が経過し、事業の検証が必要と考える。①総合事業は、計画通り遂行されているのか。問題点は何か。改善点は何か。②今後どのような事業展開が望ましいのか。③PDCAのサイクルをどの様に回すのか。

皆様方のご協力、ある



げんき☆輝きエクササイズの様子（田羽根地区）

答 稲田健康福祉部長

程度スムーズに移行したと思うが、ご指摘の問題等々ある。①6か月利用期間後の地域での受け皿が十分整っていない状況がある。現状でどこに何が問題なのかを行政・事業者・利用者と一緒に意見を出し合って把握していく。②予防コーディネーターが、地域の担い手を養成すべく、地域に出向いて介護予防の知識と地域での介護予防活動を普及する。地域での楽しみや生きがいを持つて取り組むような活動の条件整備を行う。市民の参加もお願いし、積極的な介護予防に取り組む。③事業者・利用者・行政でこれまで取り組んできた中身を検証し、次に進んでいき、来年の計画に生かす。

細かい内容は、初めて聞いた。事業所の苦しい状況も実感した。利用者は、身体判定で卒業になるが、精神・心の面で不安に思われているかと思う。趣味や生産活動など福祉以外にも取り組む必要がある。今一度総括して方針を出す。

谷本彰良 議員

空き家情報バンクの運用状況と、下限面積の見直しを

問

真庭市では、地域に眠る空き家の情報を募集し、定住・移住希望者ために、空き家情報バンクを交流定住推進課において運用しているがその状況を伺う。庭先に2a程度の農地付き家屋の場合は、非農家に売ることが難しい。平成21年12月施行の改正農地法により、県知事にかわり農業委員会が下限面積を定めることができるようになった。美咲町では平成27年7月に町内全域30aのところを、空き家情報バンク制度に登録された空き家付き農地について1筆ごとに指定して、設定面積を1aに変更して、プラスに働いている。I・Jターン希望者は、定住先選びにはかなりこだわりがある。一人でも多くの移住者を確保することが自治体間の競争となっている。真庭

美咲町 空き家等情報バンク制度

空き家等情報バンク
バンク登録方法
旭エリア
中央エリア
柵原エリア
連絡先
アクセス
リンク
お試し暮らし住宅

旭エリア



New! 旭No.28 (西川上)
役場支所まで車で20分
木造平屋建て
宅地671.44㎡
※補修が必要である
農地・山林付き、川沿い、長閑な
大きな木造倉庫付き
売却価格:160万円
詳細はコチラ(PDFが開きます)

美咲町の空き家等情報バンク

件が登録され、売買で17件、賃貸で10件の契約が成立。また、宅建協会が運営する不動産の検索サイト「すまいる岡山」を合わせると、市内で売買・賃貸が可能な中古の物件は122件となる。この中には庭先で農作物を栽培することが可能な物件もある。

農地取得の下限面積の見直しについて、真庭市の下限面積は地区、旧の大字ごとに10aから50aまでの範囲であり、権限は農業委員会にある。一律空き家情報バンクの登録をすると、下限面積を10a未満まで引き下げる制度は、現実には難しい。現在、県内で10a未満に下限面積を下けているのは高梁市と美咲町のみ。美咲町では10件以上の実績があり、移住者の受け入れにはかなり効果がある。美咲町や他県の事例を調査・検討し農業委員会に速やかに提案して議論を進めていきたい。



消防写生大会 幼年の部 岡山県知事賞 飛峪未来さんの作品(美川こども園)

住宅・土地統計調査や水道検針データーなどにより包括的に推定して把握している状態で、リアルに市全域の空き家の実態は把握できていない。空き家実態調査を早急に実施したい。この対応を考えるには専門家も必要だが、そ

答
太田市長

が現状がどうなのか伺いたい。

不要となった消防車両や小型動力ポンプの処分確かにこれも抜けていた。消防庁からの通達のままに不要となった消防車両はスクラップ処理してきた。今後は当然公売するようにしていく。

答
太田市長

今後使用済みの消防車両及び小型動力ポンプをオークションにかけるべきと思うが市長の見解を伺いたい。

真庭市では、使用済みの消防車両は平成16年8月24日付で消防庁消防課長から消防車両等の適切な管理及び処分についての通達で、スクラップにしているようであるが近隣他市においては車体の名称表示を消去してオークションにかけている。

問

不要になった消防車両や小型動力ポンプは公売する

の地域の方々のご意見を求めた市民の意見も大切なので、そういう方からなる空き家対策計画をつくる策定委員会を設置していきたい。

竹原茂三 議員

問

平成25年度住宅・土地統計調査によると、真庭市の空き家は3,830戸と示されているが、給水対象区域での空家は3,145戸ではないかと思われるのとことであるが、市内にある空き家につ

いてどのように把握しているのか。国において、平成27年2月26日に空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行された。この特別措置法では、各自治体で危険な空き家を強制撤去出来るようになってきているが、この法律の適用を受けるためには空家対策計画を立てる必要がある。平成28年度には空き家対策計画の策定委員会をできれば立ち上げたいとのことであったが現状がどうなのか伺いたい。

空き家対策計画の策定委員会を設置



総務委が三原市・丸亀市へ視察

総務常任委員会の先進地視察を 10月5～6日に行いました。広島県三原市で防災無線、香川県丸亀市で自主防災会の現状を調査しました。
(上の写真は防災大賞の丸亀市川西地区自主防災会)



久世こども園が開園

9月1日、久世幼稚園が保育機能を整えて久世こども園へと変わりました。これは、保育需要が増加している久世地域について保育ニーズに対応し、3歳から5歳児の就学前教育を充実させるためです。(上の写真は第1回運動会から)



海の市・山の市へ30市町村

日本海・瀬戸内海・太平洋をつなぐ高速道路の沿線のまちが集う「海の市・山の市」が9月24日、蒜山高原三木ヶ原で行われ4万3千人の人出で賑わいました。今回で22回目の開催で、ジャージー乳製品など蒜山の特産品をふるさと名物として指定する「ふるさと名物応援宣言」が行われました。
(上の写真は毎回大人気の高知のかつおのたたき)

文教厚生委が足利市・武蔵野市へ視察

文教厚生常任委員会の先進地視察を 10月2～3日に行いました。栃木県足利市で障がい者就労の取り組み、東京都武蔵野市で地域包括ケアシステムの現状を調査しました。
(下の写真は足利市の障害者支援施設こころみ学園)



死亡事故を考えてみましょう

9月21日、市役所前で秋の交通安全広報パレード出発式がありました。昨年の県内の交通事故死亡者79人、今年真庭市はすでに3人が死亡…。何度となく挨拶に出てきた数字です。交通事故で命を落とすということ、ちょっと考えてみましょう。
(下の写真は死亡事故ゼロを願う岡山県警音楽隊)



10月7日、8日の2日間、勝山文化センターで全国各地から約500人が集まり、全国薬草シンポジウムが開催されました。薬草料理交流会、薬草フイールドワークなどがありました。一昨年の水源の里シンポジウムに続いての全国大会です。

全国薬草シンポジウム



ロビーの薬草ブースから

議会の動き

9月10月編



質問力を高める研修会

8月30日午前、市役所4階で龍谷大学教授・土山希美枝氏を講師に迎え、「質問力を高める 議会力にいかす」と題した講演を、午後からは一般質問のあり方について付箋紙を活用したワークショップを開催しました。

午前の講演は太田市長・吉永副市長ら執行部19人も聴講しました。先生の著者に「質問力でつくる政策議会」等がある。(上の写真はワークショップ)



タブレット導入へ動きだす 大津市議会

ICT作業部会(部会長:小田康文、部会員:岩本壯八、妹尾智之、谷本彰良)が3自治体の先進地視察や、調査研究を重ねてきたタブレット端末を活用した議会運営と議会ホームページの充実について、方向性を示した調査報告書を議会運営委員会に提出しました。今後、議会運営委員会や全員協議会において、さらに議論を重ね、導入に向けて検討を進めます ICT…Information and Communication Technology、情報通信技術の略。



来月1月の議会報告会+市民と語る会開催に向けて、9月22日、班長副班長会議を開催しました。2年間で市内24小学校区の会場を訪問する。報告の内容は12月議会定例会で最も議論になった話題とする。テーマは「地域の課題をざっくりと語る」とすることなどを決めています。

議会報告会に向けて 正副班長会



安心安全なまちづくり

総務常任委員会は8月21日、市内自主防災組織9団体11人と防災の取り組みについて意見交換会を開催しました。議会活性化策のひとつで、出された貴重な意見を取りまとめ、11月7日の政策討論会へ提案します。



8月21日、文教厚生常任委員会は自立支援協議会の関係者11人と、障がい者の就労支援について意見交換会を開催しました。議会活性化策のひとつで、出された貴重な意見を11月7日の政策討論会へ提案します。

自立支援協議会と会談



これからの真庭の観光

産業建設常任委員会は7月26日、観光関係団体9人と、滞在型観光の促進などについて、意見交換会を開催しました。議会活性化策のひとつで、出された貴重な意見を取りまとめ、11月7日の政策討論会へ提案します。



どの会場でも
参加できます

地域の課題を ざっくばらんに語ろう

真庭市議会報告会+市民と語る会

▲初議会4月28日撮影
入澤議員の目はすっかりよくなっています

平成30年

1月26日(金) 午後7時～

会 場: 上河内コミュニティ
ハウス

出席者: **初本 勝** **中尾哲雄**
(1班) 入澤廣成 小田康文
福島一則 山本久恵

会 場: 北房文化センター

出席者: **柿本健治** **福井荘助**
(2班) 柴田正志 庄司史郎
妹尾智之 原 秀樹

会 場: 関コミュニティハウス

出席者: **古南源二** **中元唯資**
(3班) 緒形 尚 河部辰夫
谷本彰良 築澤敏夫

会 場: 月田公民館

出席者: **竹原茂三** **氏平篤正**
(4班) 岩本壯八 大月説子
岡崎陽輔 長尾 修

平成30年

1月27日(土) 午後7時～

会 場: 勝山文化センター

出席者: 同左
(1班)



会 場: 古見ふれあいの館

出席者: **柿本健治** **福井荘助**
(2班) 柴田正志 庄司史郎
妹尾智之 原 秀樹

会 場: 川上コミュニティセンター

出席者: 同左
(3班)



会 場: 鹿田公民館

出席者: **竹原茂三** **氏平篤正**
(4班) 岩本壯八 大月説子
岡崎陽輔 長尾 修

平成30年

1月28日(日) 午後2時～

会 場: 中津井陣屋

出席者: **初本 勝** **中尾哲雄**
(1班) 入澤廣成 小田康文
福島一則 山本久恵

会 場: 富原公民館

出席者: 同左
(2班)



会 場: 高仙の里よの
なつつばき

出席者: **古南源二** **中元唯資**
(3班) 緒形 尚 河部辰夫
谷本彰良 築澤敏夫

会 場: 蒜山振興局

出席者: 同左
(4班)



赤が班長 緑が副班長

花:パンジー